

避難所の実態と人材育成のための提案

JVOAD避難生活改善に関する専門委員会メンバー
認定NPO法人レスキューストックヤード常務理事
浦野 愛

避難所の課題

- 物理的環境の悪化
- 避難者の活力の低下
- 生活の見通しが立たない不安
- 孤立
- 要配慮者の特定とケア
- 支援者の過不足による支援の重複と偏り

この環境を改善するための

- 知識・技術のある人手が足りない
- 調整役が足りない
- 課題を共有し、相談する場がない

例①避難所の寝床



「ああ、よかった！」と思いきや・・・

- 数が全員分ない
- 組み立て要員が足りない
- レイアウトの再編成が必要
- マットや布団の導入
- リネンの取り換え
- ダニやカビの衛生対策
- せっかく準備しても「必要ない」
- 寝床から出て来ない



次の課題
が山積



- 優先度の高い人の判断
- 他の避難者の合意
- 正しい寝床の整え方の知識
- 必要物品の調達と導入の段取り
- 使用すべき人への根気強い促し

これを全て理解し、包括的かつ迅速に調整できる人が少ない
実際は・・・NPO、専門職、行政等気づいた人がその都度対応
気づく人がいなければそのまま

改善に向けた動き



例②避難所の食事



炊き出しで改善！



- 「ああ、よかった！」と思いきや・・・
- 炊き出しの問い合わせが行政に殺到
 - 支援の偏り（地区・メニュー・規模）
 - 安定的に供給できない
 - 食中毒や感染拡大の心配
 - 高齢者、持病のある人、アレルギー患者は食べられない
 - 高カロリーで持病悪化、体重増加
 - 「してもらっただけ」の避難者＝依存助長



次の課題
が山積



- 受付窓口の一本化、ルールづくり
- スペシャルニーズの把握
- 地元飲食店への打診や介護食等の手配
- 避難者への調理場の開放
- 食堂の設置、日中活動の企画・運営

これを全て理解し、包括的かつ迅速に調整できる人が少ない
実際は・・・NPO、専門職、行政等気づいた人がその都度対応
気づく人がいなければそのまま

改善に向けた動き



例③避難所の要配慮者



- 「ああ、よかった！」と思いきや・・・
- 対象者を特定・判断できない
 - レイアウトの方法や必要物品が分からない
 - 介護用ベッドや介護用トイレが足りない
 - 24時間常駐の看護・福祉の専門職がない
 - 家族の負担軽減、リフレッシュ
 - 本人のADL低下防止、リフレッシュ
 - 従来の福祉サービスへのつなぎ



福祉避難スペースの確保で改善！



次の課題
が山積



- アセスメントの実施
- ベッドや介護用トイレの手配、配置
- 一般スペースからの引っ越し手伝い
- 専門職ボランティアの確保、シフト組み
- 日中活動の企画・運営
- 福祉課、保健医療調整本部等との情報共有

これを全て理解し、包括的かつ迅速に調整できる人が少ない
実際は・・・NPO、専門職、行政等気づいた人がその都度対応
気づく人がいなければそのまま

改善に向けた動き

常総市：避難所情報共有の会議

ソーシャルワーカー協会

日々の見守り活動を展開。月～金まで同じ担当者が詰めていることで、被災者の相談相手となりやすかった。

看護師

主に被災者の健康面をサポート。夜勤帯でのトラブル対応なども。

介護施設関係者

主に福祉避難スペースを担当。トイレ介助や入浴介助など。

市担当者（日替わり）

行政の担当者。避難者の名簿の管理や食事提供数の確認など。

あすなるの里 (避難所)

気になる人の情報

災害ボランティア

避難所で日中レク（足湯ボランティア）や炊き出し、サロン活動などを実施。団体によっては、環境改善や物資の調達なども。

保健師

被災者の健康面を総合的に支援。担当者制で1日ごとに入れ替わりのほか、各避難所を巡回する保健師も。

リハビリ担当

シルバーリハビリ体操などを担当。定期的に避難所内で活動していた。



現状の避難所運営人材育成プログラムの課題

今、主流の地域防災プログラム=HUG（避難所運営ゲーム）

意識づけにはなるが、指導者が経験者ばかりではないため、細かいニュアンスが伝わりにくく、実践的に動ける人の育成まではつながりにくい

今後、さらに理解・技術を深めることが必要な点

★現場リーダー

- 避難所の空間認識力
- 解決策のバリエーション
- 解決策を実行する為の段取りや調整力
- 避難者自身の運営への参加、場づくりの促し
- 多様な連携先に対する理解
- 閉所と統合に向けた準備
- 仮設住宅、自宅帰還移行のサポート
- 避難所情報共有会議のしつらえ方と運営

★避難所アドバイザー

上記を実施するための、行政・専門職・NPOらとの全体的な調整サポート

避難所の空間認識力

どのスペースに何をどう配置するか？

それぞれの生活動作がちゃんと機能するような整え方

居住スペース



福祉避難スペース



トイレの衛生環境



乳幼児スペース



洗濯干しスペース



ペットスペース



解決策のバリエーション 実行するための段取り・調整力

避難所の課題

居住スペース
寝床に炊き出しの
食べ残しやごみ類
が溜まっている



解決策

寝床から移動しや
すい場所に、共有
のゴミ箱を設置す
る

【調整事項】

- ▼ゴミ箱の確保の方法は？
- ▼ゴミの分別の種類は？
- ▼移動しやすい場所とはどんな場所？
- ▼ゴミ箱が一杯になったら？

対応策

居住スペース
寝床に炊き出しの食べ残しやごみ類が溜
まっている

事前に告知して、
〇〇避難所一斉清
掃日を設定する

【調整事項】

- ▼告知方法は？
- ▼日程は誰とどう決める？
- ▼当日の作業工程は？
- ▼どんな道具を用意する？
- ▼道具の調達方法は？
- ▼不在者への対応は？

対応策

居住スペース
寝床に炊き出しの食べ残しやごみ類が溜
まっている

避難所内に供用の
掃除用具を設置す
る

【調整事項】

- ▼どんな道具を用意する？
- ▼道具の調達方法は？
- ▼紛失を防ぐための対応は？
- ▼道具使用可能の周知の方法は？

対応策

居住スペース

寝床に炊き出しの食べ残しやごみ類が溜まっている

保健師や介護の専門職に同行してもらい、一緒に片付けをする

【調整事項】

- ▼ 専門家が同行することのメリットは？
- ▼ 一緒に片付けてくれる人をどうやって確保する？
- ▼ 今後のため込みを防ぐための予防策

対応策

居住スペース

寝床に炊き出しの食べ残しやごみ類が溜まっている

寝床のパーテーションやカーテンを日中は明けるよう声かけをする

【調整事項】

- ▼ 開けることのメリットは？
- ▼ 誰が、どんな場面で、どんな声かけをするとよいか？
- ▼ 開けることを嫌がる人への対処方法

運営への参加・場づくりの視点

役割、触れ合い、充実感、責任感が尊厳を守り、
活力のある状態を維持することに繋がるという思考



避難者が運営に**参加**しやすい環境・雰囲気をつくるか



※写真の一部は一般社団法人ピースポート災害支援センターより提供

避難所の閉所・統合に向けた準備

丁寧な意向調査と説明、引っ越しサポート、余裕を持ったスケジュール建て、転居先での生活サポート



仮設住宅・自宅帰還移行サポート 生活の基盤づくりに向けた伴走

仮設住宅入居者説明会運営支援



専門家による相談会の開催



仮設住宅の環境改善、孤立防止、集いの場づくり

